

!!
いま、バイオディーゼル
燃料(BDF)を見直す



!!
車、農業、発電、熱源...

2015 バイオディーゼル燃料フォーラム

平成 27年 **1月31日** 土

午後1:30 ~ 午後4:30 (開場 12:30)

会場 / **オガールプラザ中央棟
紫波町情報交流館 2F 大スタジオ**

定員 / **100名**



第1部

基調講演 (北海道)

「びっくりドンキーの環境活動—食・農業・環境への取り組み」

(株)アレフ エコチームリーダー **渡邊 大介氏**

岩手大学農学部卒業。北海道大学大学院農学研究科修士課程卒業。(株)アレフに入社。生ごみや廃食油などレストランから出る廃棄物の資源化、リサイクル・エネルギーに関する業務に従事。(株)アレフは「びっくりドンキー」等の運営会社です。

実践報告 (岩手県)

「脱石油依存・環境配慮型農業をめざして—バイオディーゼル燃料年間1万1千リットル使用達成」

(有)ピース 代表取締役 **家子 秀都氏** (岩手県有機農産物アドバイザー)

実践報告 (岩手県)

「てんぷら油(廃食油)の直接発電利用の到達点」

東北農業研究センター 寒冷地バイオマス研究チーム 主任研究員 **野中 章久氏** 東北農業研究センター 生産基盤研究領域 農業機械領域 主任研究員 **金井 源太氏**

地域の取り組み (岩手県)

「循環型エコプロジェクト推進事業の取り組みについて」

紫波町 産業部環境課循環政策室

開催趣旨

地域が自立し、持続可能な社会になるためにエネルギー問題が重要です。石油に依存した暮らしは終わりが近づいており、今こそエネルギーの地産地消を追求すべき時代になってきました。地域の身近な資源である「使用済みてんぷら油(廃食油)」はBDFに精製され、軽油代替燃料や農機具燃料、発電用燃料などとして活用されています。本フォーラムでは昨年の岩手県における廃食油の活用状況を数値として把握します。BDF先進地である北海道での実践を学び、岩手での農業での活用、発電でのチャレンジを紹介します。パネルディスカッションを含めた全体を通じて岩手での廃食油活用を「次のステップ」へ前進させたいと考えます。BDFに関係する事業者、農業者や行政関係者など多数の参加をお待ちしております。

第2部

パネルディスカッション

司会者 **佐々木 明宏** 環境パートナーシップいわて 副代表
 【報告】2014年の岩手県のBDFの実績(脱石油、CO2削減効果)

パネリスト **渡邊 大介** 氏 (株)アレフ エコチームリーダー
 岩手大学農学部卒業。北海道大学大学院農学研究科修士課程卒業。(株)アレフに入社。

家子 秀都 氏 (有)ピース 代表取締役
 岩手県有機農産物アドバイザー

野中 章久 氏
 東北農業研究センター 寒冷地バイオマス研究チーム 主任研究員

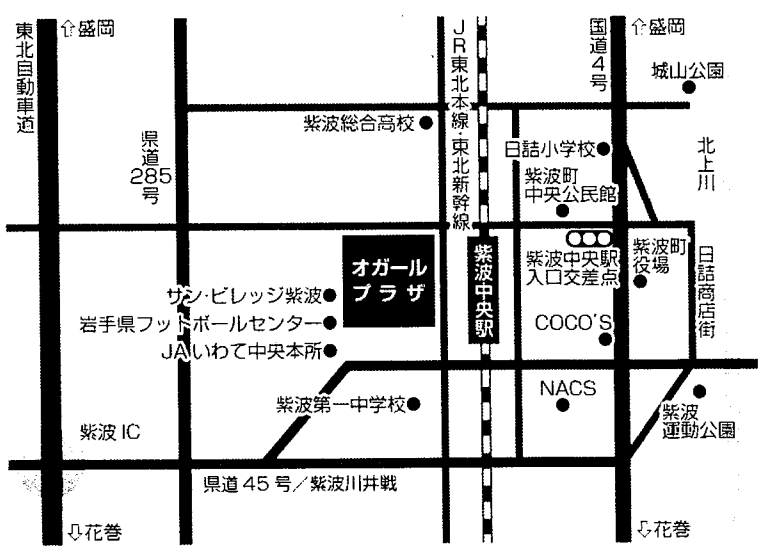
金井 源太 氏
 東北農業研究センター 生産基盤研究領域 農業機械領域 主任研究員

質疑応答

このフォーラムは独立行政法人 環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催します。

会場アクセス

オガールプラザ中央棟 紫波町情報交流館 2F大スタジオ
 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前2丁目3-3
 電車 JR東北本線紫波中央駅(盛岡駅から約20分)
 車 国道4号 紫波中央駅入口交差点から西へ600m
 東北自動車道 紫波I.C.から東へ5km
 駐車場 86台、パーク&ライド(90分無料)290台



お申込み・お問い合わせ先
岩手県地球温暖化防止活動推進センター
 (NPO 法人環境パートナーシップいわて)
 〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1
 いわて県民情報交流センター・アイーナ 5階
TEL:019-681-1904
FAX:019-681-1906
 E-Mail:eco@isop.ne.jp

キリトリ

2015 バイオディーゼル燃料フォーラム
 平成27年 1月31日(土)

参加申込書 FAX:019-681-1906

事業所名			
住所	〒		
電話		E-Mail	
業種		参加人数	

FAXの場合、切り取らずにこのまま送信願います